

第399回 長野放送番組審議会

1. 開催年月日 平成21年3月4日(水) 午前10:30より

2. 開催場所 長野放送会議室

3. 委員の出席

○委員総数 9名

○出席委員数 7名

○出席委員の氏名(敬称略・委員は50音順)

委員長 宮本忠長

委員 大橋俊夫

委員 小出貞之

委員 小松正俊

委員 塚田芳樹

委員 中條智子

委員 丸山仁也

4. 放送事業者側出席者

相崎由松(代表取締役社長)

堀真一(専務取締役・報道局制作局担当)

関義仁(取締役編成局・番組審議会担当)

松田敏和(編成局長)

宮尾哲雄(報道局長)

飯嶋憲彦(編成局編成部長兼視聴者室長)

中村大輔(報道局報道部)

山口慶吾(番組審議会事務局長)

5. 議題

NBS月曜スペシャル

「地域の足をどう守るか?～公共交通の現状と再生～」

1月26日(月)午後7:00～7:54

6. 番組の内容

各地でバスや鉄道などの廃止や減便が相次ぎ、とくに中山間地域で切実になっている公共交通の再生の道はあるのか、再生に向けて行政や住民は何をすればいいのか、県内各地の現状報告や他県での取り組みのレポートや交通ジャーナリスト

からの提言を含めて考える。

7. 審議の概要

- 地域に密着したテーマを取り上げてくれたことはありがたかった。公共交通の現状、課題再生ということが最初に提示され、見やすい番組になっていた。
- 見応えのある番組だった。各地の実例を上手に取り上げて、どこに問題があるのかを示しながら、その地域のニーズと利便性と行政が兼ね合いながら対処していく辺りに繋げていくのが良かった。
- 内容が盛りだくさんで紋切り型に終わった面がある。過疎化の問題と都市のモータリゼーションの問題と、違う視点で2回位の企画でやった方が良かった。
- 地域交通の悪循環をどうすれば断ち切ることができるのか、視聴者に一緒に考えさせる番組に仕上がっていた。
- 住民参加による課題解決のあり方、住民がとことん話し合っ方向性を見い出していくという事例に考えさせられた。
- 視聴者はこの番組を見て、地方の公共交通が抱える問題が理解できたと思う。ただ、紹介された事例が本当に課題の根本的解決につながるのかという感じが残った。
- 重い課題を取り上げ、事例も多く紹介されていた。ただ、一時間の中に問題を多く詰め込んでいるので、すべてに物足りない部分が出てくる。もったいない感じがした。
- 焦点を絞ってもっと掘り下げてやって欲しかった。